

みらいコース [上限 50 万円] 【提案書】 **[公開]**

提案名 ※25文字以内	“世界の子どもに笑顔を届ける！クリスマスツリー”
グループ名 ※25文字以内	高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト

【1】 提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃： 近隣の「横浜市港北区菊名」地域を定期的に清掃 ● 東日本大震災後の被災地支援： 震災後に募金活動 → 日本赤十字へ寄付 福島産の野菜・果物を学園祭にて販売し、売上を →2011年 - 福島県立双葉高等学校 2012年 - 福島市役所 2013年 - 東日本大震災ふくしまこども寄付金 へ、全額寄付 ● ペットボトルのキャップ収集： 世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加
■ ホームページ http://www.takagigakuen.ed.jp

【2】 助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	年間のプロジェクト概要(活動内容、タイムライン、予算等)の決定 (実施済み)
5月	ぬいぐるみ製作用の素材(生地、裁縫道具、備品など)の準備 (実施済み)
6月	ぬいぐるみの試作品製作、オーガニックコットン栽培、クリスマスツリーの候補地検討 (実施済み)
7月	ぬいぐるみ製作、クリスマスツリーの候補地へのご相談 (実施済み)
8月	ぬいぐるみ製作、反毛機による綿作り (実施済み)
9月	ぬいぐるみ製作、クリスマスツリーの台座製作及び発注
10月	ぬいぐるみ製作(学園祭で一般のお客様にも協力を依頼)、検品のため、ぬいぐるみを送付(神戸の(株)フェリシモ宛)
11月	みなとみらいのツリーにぬいぐるみ展示
12月	ツリーにてぬいぐるみ展示 → 終了後、(株)フェリシモ宛にぬいぐるみを送付
1月	(株)フェリシモ経由で、世界各地の子どもたちにぬいぐるみ送付
2月	↓
3月	↓

(1) 活動の内容

“横浜から世界中の子どもに笑顔を！”をテーマに、

- 本校生徒たちが主体となってぬいぐるみを製作
(その際の布地は極力余った布などを有効活用、綿もオーガニックコットンを校内で栽培)
- 11月上旬～クリスマスまでの時期、港町・横浜のシンボルである「クイーンズスクエア横浜」のクリスマスツリーにぬいぐるみを展示
- 展示終了後、そのぬいぐるみを世界中の子どもたち(とりわけ恵まれない地域の子どもたち)に寄贈

(2) 活動の主催者及び参加者

主催：高木学園女子高等学校ハッピーイズプロジェクト

(JRC(青少年赤十字)部、家庭科同好会などのメンバー 約20人)

参加：本校在校生、卒業生、卒業生保護者、地域の方々 (一部協力(株)フェリシモ)

(3) 活動を実現させるための方法

以下のそれぞれの段階を実行に移していく予定です

- 素材の準備：ぬいぐるみに必要な生地や綿を準備
 生地は、本校家庭科ファッションコースの生徒たちの洋服製作で余った生地、アパレルメーカーさんから出た切れ端生地などを有効活用
 綿は、①文化学園大学の協力で、余り布などを反毛機にかけ綿の代用品生産、②校内でオーガニックコットンを栽培、③一般の綿を購入、などで準備予定
- ぬいぐるみ製作：9月末までに本校内で200体を製作予定
 10月4日、5日の学園祭にて、一般の方にも製作に参加して頂く
 →10月中旬までに(株)フェリシモに検品のため一度送付
- クリスマスツリー台座製作：デザイン会社にツリーの台座のデザイン及び製作を発注
- 施行・設置：11月上旬に、生徒たちが主体となって設置
- 展示：11月上旬～クリスマス(12月25日)に、ぬいぐるみをクリスマスツリーに展示
- ぬいぐるみの寄贈：クリスマス以降、ぬいぐるみを(株)フェリシモ経由で世界の子どもたちに寄贈



(4) 時期

“横浜から世界中の子どもに笑顔を！”Happy Christmas Tree での展示：11月7日～12月25日

(5) 場所

横浜みなとみらい クイーンズスクエアアット横浜！インフォメーションカウンター横 (希望)

(6) みなとみらい地区で活動を行う、応募の理由

- 文明開化の地・横浜は、世界への玄関口としての顔を持っていて、みなとみらい地区はその象徴的な場所。世界中の子どもたちに幸せを贈るために、横浜がふさわしい起点となると考えたため
- みなとみらい地区の中でも、とりわけ「クイーンズスクエア横浜」は当地区の象徴的な場所であるため
- 本校も横浜に所在しており自ら製作したぬいぐるみが地元横浜みなとみらい地区で展示されることで地域の活性化につながると考えたため
- クリスマス時期に多くのお客様が訪れることにより、これらの取り組みが多くの人々に認知され、横浜市民として世界に貢献をすることの意義を感じ、今後継続的に市民が参加できるきっかけ作りを行いたい

(7) 活動を行うことによるみなとみらい地区へのメリット(効果)

- 世界の子どもたちに笑顔を届ける取り組みを支援いただくことで、横浜・みなとみらいのイメージアップを図ることができ、また世界中でみなとみらいの認知度が上がる
- 珍しいツリーのため、話題性が高く、集客数がアップする可能性が高いこと、とりわけ、神奈川県は日本47都道府県の中で手芸人口が高いため、関心を持って訪問するきっかけとなる
- (株)フェリシモも神戸でクリスマス時期にツリーを展示しており、港町の「横浜 x 神戸」でともに街のイメージアップが図れる

(8) 継続

初年度は生徒の活動をメインに活動していきますが、次年度から輪を広めて横浜市民が世界の子どもたちのために行動するきっかけ作りをしたい

収 支 予 算 書

グループ名 高木学園女子高等学校ハッピートイズプロジェクト

1 収入（自己資金や他の助成金などを記入してください。）

項 目	金 額	説明（負担者及び負担方法等）
助成金（A）	500,000	
学園祭により収益金	15,000	同窓会菊蘭会の物品販売の収益の一部
自己負担	350,000	学校法人高木学園
合 計（B）	865,000	(B) ≥ (C)

2 支出（助成金対象経費分）

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
クリスマスツリーの台座製作費(設置費含む)	1	800,000	800,000	ツリーの足元にぬいぐるみを展示する台座の製作(初年度のみ)
ぬいぐるみ運搬費(往復)	2	15,000	30,000	往：神戸→みなとみらい 復：みなとみらい→神戸
ツリー設置のための会場使用料	1	15,000	15,000	
消耗品等	1	20,000	20,000	
合 計（C）			865,000	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) ×4/5 ≥ (A)

資料添付① 「プロジェクトの全体像」



サイズは均一ですが、切れ端の布で作っているの、カラフルな装飾になります



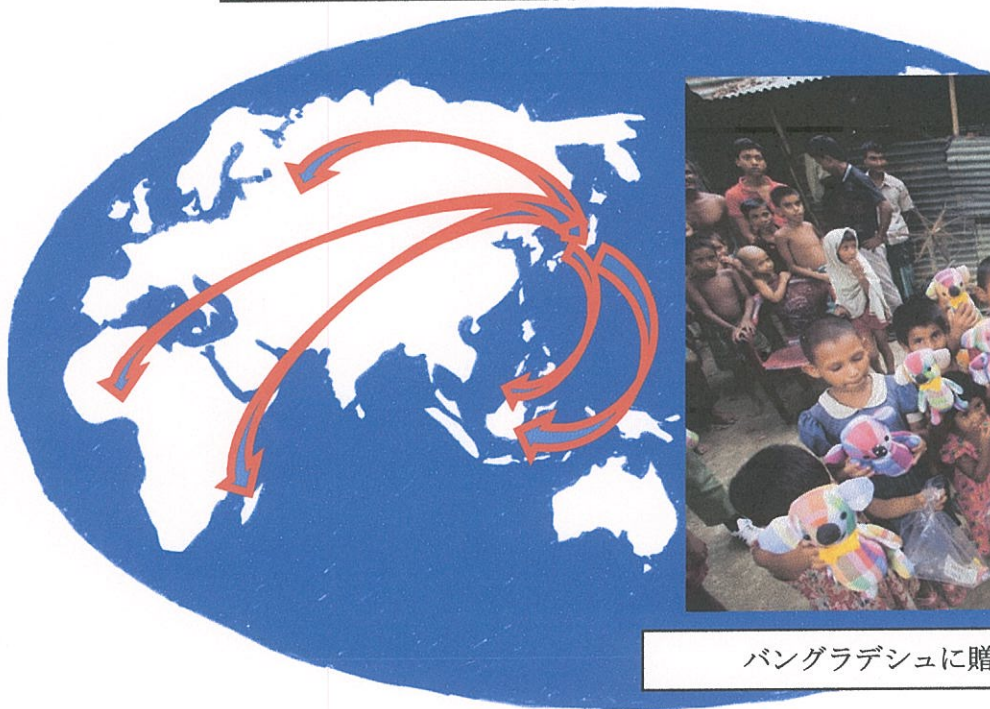
200個以上でカラフルなツリーが出来上がります



神戸三宮会場での展示



日暮里駅での展示



バングラデシュに贈られ子供たちの喜んでいる様子です

添付資料② 「生徒たちの活動の様子」



まずは部長、副部長が試作品を作り、部員に指導しています



最初は慣れず、進むのが遅かったですが、二つ目以降はペースアップで順調に作れています



オーガニック綿の栽培
夏休み水やり当番をし順調に育っています



校舎に設置している布回収BOXです
家で使わなくなった物を学校で回収して
材料として使っています



教室に掲示してある有志呼びかけのプリントです

